

あくせす news

第 238 号
2022年4月14日
発行者
呉市医師会病院
地域医療福祉連携室
あくせす



春爛漫の美しい季節となりました。今年も変わらず桜の花が咲きほこり、新年度の輝かしいスタートを応援してくれているようです。さて、先生方にはいつもあくせすをご利用いただき、ありがとうございます。4月より外来担当医に変更がありましたのでお知らせいたします。引き続き一層のご利用・ご紹介のほど、よろしくお願いいたします。

◆ 外来担当医表 ◆							2022年4月
		月	火	水	木	金	
1 診	内科	江木 康夫 消化器一般	卜部 景子 内分泌 (広大)	大谷 一郎 消化器一般	頼田 尚樹 消化器一般	上平 祐輔 肝臓 (広大)	◆乳腺外来◆ 毎週水曜日 午後 第1・第3土曜日 午前 担当医師：春田 るみ
2 診	内科		柏原 彩乃 循環器 (広大)	河内 礼子 呼吸器 (広大)	新上 寛子 内分泌 (広大)	片山 紀彦 消化器一般	◆排便障害外来◆
3 診	外科/大腸肛門外科	藤森 正彦	中塚 博文	藤森 正彦	中塚 博文	藤森 正彦	毎週月・水・金曜日 午前 担当医師：藤森 正彦
4 診	外科/内科	先本 秀人	石川 聖	先本 秀人	石川 聖	山口 覚博 呼吸器 (広大)	◆ストーマ外来◆ 第2・第4金曜日 午前 担当医師：中塚 博文
5 診	内科					小林 佑輔 循環器 (広大)	※赤字 = 変更箇所

医療安全対策講習会 「病院全体で取り組む肺血栓栓症予防」 報告

講師：中国労災病院 特命院長補佐 中川 五男 先生



3月29日(火)、医師会館5階講堂にて中国労災病院 中川 五男 先生 をお招きして医療安全対策講習会が開催されました。会場開催は新型コロナウイルス感染症の拡大により2020年から控えておりましたが、当日は感染防止対策を十分に行い医師・看護師を中心に各部門の代表者が参加しました。



肺血栓栓症の疫学的データ、診断に至る自覚症状・検査方法、予防策、医療訴訟や中国労災病院における対応についてわかりやすく講演していただき、その後の質問に丁寧なお答えをいただきました。肺血栓栓症は早期発見・診断・予防が重要な疾患であると改めて教えていただき、今回学んだことを全職員で共有し、理解を深め患者さん一人一人を注意深く見守り慎重に対応してまいります。

Let's 「快便体操」のパンフレットを作成しました ご案内



この度、快適な排便習慣を身につけるために有効な体操を紹介するパンフレットを 藤森 正彦 医師(大腸肛門病センター副センター長)監修のもと当院のリハビリテーション科が作成しました。

自然な排便のための呼吸練習をはじめ骨盤底筋体操・便秘体操などをわかりやすい解説と写真で紹介しており、巻末には快便体操実施チェック表も付いています。排便についてお悩みの患者さんがおられましたら是非ご活用ください。ご購入の際はあくせすまでお気軽にご連絡ください。

お問い合わせ先：あくせす (TEL 32-7576)

※A5判サイズ

乳腺外来開設後8年をふりかえって 加えて、乳癌診療の最近のトピックス

はるた
広島中央健診所 乳腺科長 春田 るみ 先生



呉市には乳腺専門外来のある病院が少なく、軽微な自覚症状がある患者を専門機関に紹介しにくい傾向があった。また乳癌検診受診率が広島県の市町村の中では低いことが問題であった。

そこで、2013年(平成25年)8月に当院で精査機関として乳腺外来を開設し、8年が経過した。これまでの外来の状況をまとめ、発見された乳癌症例の分析、そして印象に残った症例について報告した。

外来を開設したことの周知が進み、外来受診者数は毎年増加が見られたが、西日本豪雨災害やCOVID-19による影響がありやや低迷している。呉市全体の乳癌検診数は増加しており、検診受診率の向上が確認された。

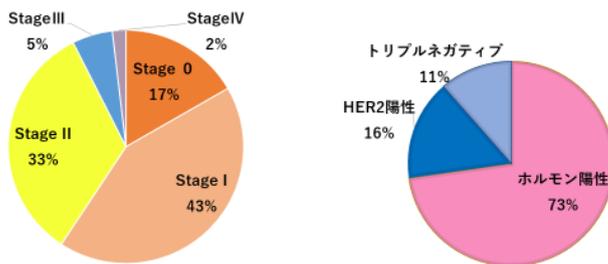
発見乳癌は高齢者が多い傾向があり、呉地区は高齢者の比率が高いためと考えられた。また、サブタイプはトリプルネガティブがやや少ない傾向があった。発見動機では自覚症状が最も多く、他疾患の検索CTで発見された乳癌が比較的多い傾向があった。印象に残った3症例として、トリプルネガティブ乳癌の早期死亡例・乳房腫瘍を初発症状としたStageIV肺癌の症例・局所再発の症例について画像を供覧した。

最近のトピックスとしては、新型コロナウイルスワクチン接種後の副反応としての片側反応性リンパ節腫大、乳房再建インプラントのリコール問題、乳房温存術の術後放射線治療に伴う合併症の血管肉腫について報告した。

乳腺外来受診者数 当院と呉市MMG検診者数



当院発見乳癌の病期別症例数とサブタイプ別症例数

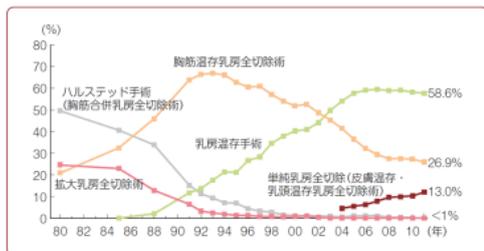


乳癌の予後は概ね良好である。そのため治療のオプションも多彩となり、その影響が術後生存中に出現してくるという傾向がある。今後も新しい報告があれば、情報を素早く正確に提供する事が重要と考える。

放射線技師さん、検査技師さん、放射線診断医の先生、外来看護師さん、ご紹介していただく開業医の先生や連携施設の先生に助けられて、充実した外来ができています事が確認された。今後も呉地区の乳癌の早期発見に寄与できればと考えている。

乳癌治療の今後

図2 乳がん手術方法の変遷 (Breast Cancer, 2015; 22 (3) : 235-44, より改変)



- ・乳癌の予後は概ね良好である。そのため治療のオプションも多彩となり、その影響が術後生存中に出現してくるという傾向がある。
- ・今後も新しい報告があれば、情報を素早く正確に提供する事が重要と考える。

春田 るみ 先生の乳腺外来診察日は
毎週水曜日 午後と
第1・3土曜日 午前です。

診察にはマンモグラフィが必要となりますので、あくせすにお問合せください。

お問合せ先：あくせす (TEL 32-7576)

◆ 関係医師懇談会のご案内 ◆

演題：「知っておきたい 鼠径部ヘルニアのあれこれ」

講師：呉市医師会病院 外科 石川 聖

日時：令和4年5月24日(火) 19:00~

場所：呉市医師会館 5階講堂 (WEB配信も行います)

★3月1日～3月31日★

※届出日数(地域包括ケア病棟、障害者病棟等を除く)

平均入院患者数	平均病床利用率	平均在院日数※	紹介外来患者数	医療相談患者数
121.6人	61.4%	18.5日	93人	97件

呉市医師会病院 地域医療福祉連携室 **あくせす**

<http://www.kure.hiroshima.med.or.jp/hp/>

電話 (0823) 32-7576 (直通)
FAX (0823) 32-7507

院長 中塚 博文
室長 中間 千穂

MSW 森下 香織
事務 中野 浩美

MSW 菅原 淳子
事務 向井 梨恵

MSW 巻幡 成実
事務 住吉 美澤